

2011年03月 通算45号

編集発行：（財）自転車産業振興協会  
技術研究所

<01>

◆自転車JISが改正公示されました◆

■2月21日付で下記規格が改正公示されました。主な概要は以下のとおりです。

「JIS D9413（自転車—にぎり）」

- ・にぎりの種類を用途によって規定した。
- ・幼児用にぎりの内径の呼びが小さいものを追加し、にぎりの離脱力試験の規定内容を修正した。

■3月22日付で下記規格が改正公示されました。主な概要は以下のとおりです。

「JIS K6302（自転車—タイヤ）」

- ・JIS D9112（自転車用タイヤ—諸元）を統合した。
- ・使用時におけるタイヤの寸法規定の定義及び試験方法を明確にした。
- ・試験室の環境（温度・湿度）を明確にした。
- ・試験条件に必要な許容差を追加した。
- ・空気圧の表示として「最大空気圧」及び「推奨空気圧範囲」を選択できるようにした。

■3月22日付で下記規格が廃止されました。主な理由は以下のとおりです。

「JIS D9112（自転車用タイヤ—諸元）」

- ・自転車タイヤに係る規定については、タイヤの品質・試験方法等について規定したK6302（自転車用タイヤ）とタイヤの諸元について規定したD9112（自転車用タイヤ—諸元）の2つの規格が存在していたことから、K6302に統合することで、規格の利便性向上を図った。

<02>

◆平成23年度における自転車JIS改正案件について◆

平成23年度は以下の規格改正を予定しています。

「JIS D9301（一般用自転車）」

- ・平成22年5月にD9453（リヤキャリア及びスタンド）が改正され、区分に”クラス27”を新たに設けるとともに、リヤキャリアの各クラスには最大積載質量を明記し、幼児用座席を取り付ける際の製品質量と幼児の体重の関係を明記するようになった。一方、リヤキャリア単体の強度試験等については、D9453に規定されているが、フレーム本体にリヤキャリアを取り付ける際の取り付け部の強度規定がないことから、消費者の安全性を確保する観点から、D9301にフレーム本体にリヤキャリアを取り付ける際の、強度試験等に係る規定項目を追加する必要性が生じた。

## 「JIS D9115（電動アシスト自転車—設計指針）」

- ・平成21年9月にD9111（自転車—分類及び諸元）の改正に伴い、「電動アシスト自転車」が自転車の分類上、大分類に区分されたことを受け、D9115の適用範囲及び種類の記載事項を改正する必要性が生じた。



このメールサービスは、競輪の補助金を受けて提供しています。

<http://ringring.keirin.go.jp>